

2018 年度

第11回「色の障壁（バリア）について」

夏を目前に、草木が茂り色鮮やかな季節となりましたが、普段、何気なく景色や色を見ていると思います。ですが、誰もが同じ景色を見ているとは限りません。

色覚（色の感じ方）は、味覚や嗅覚と同じように人それぞれ違います。例えば、色分けされたグラフの色を見分けることが難しかったり、駅の案内表示が見づらかったりと様々です。

しかしそれは異常ではなく、背が高い人や背が低い人がいるように、その人の持つ「特性」の一つです。

また、見づらい色や、見えづらさの度合いにも個人差があります。色弱者について世間では「白黒に見える」と誤解をされている方も多く、それぞれの特徴を正しく理解し、掲示の色使い等に工夫することが必要だと思います。色の障壁（バリア）を無くす工夫について考えてみてはいかがでしょうか。

